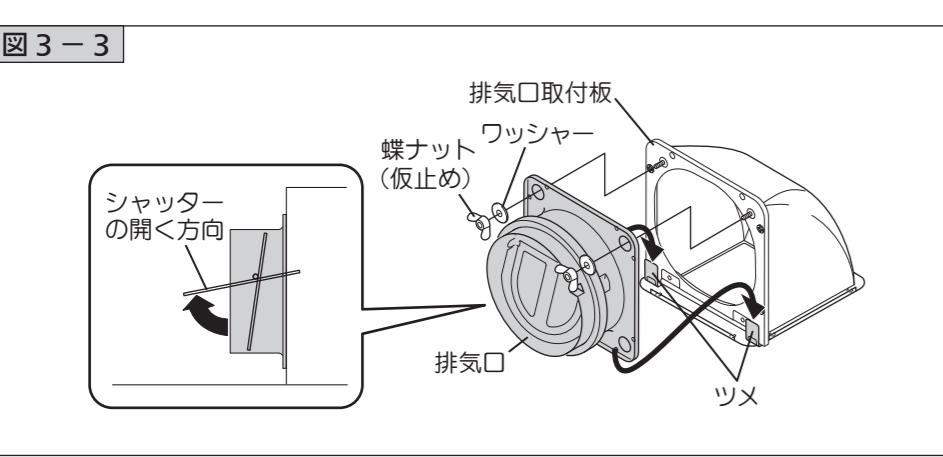


こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

取り付けかた (つづき)

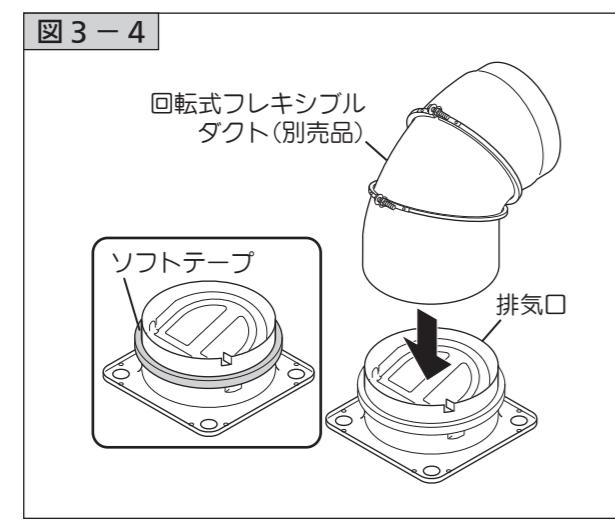
2 排気口取付板に排気口を取り付けます。(図 3-3)
排気口取付板のツメに排気口を差し込み、ワッシャーおよび蝶ナット 2 個で仮止めします。
取り付け方向は、シャッターの開閉方向が下方になり、レンジフードを運転しないときはシャッターが閉じるように取り付けます。

お願い
排気口を取り付ける際は、シャッターの開く向きに注意してください。
誤った取り付けの場合、排気不良や異音の原因になります。

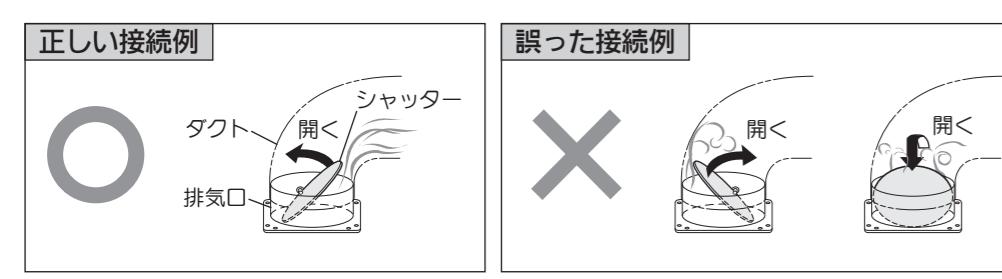


■ 後方排気の場合

1 回転式フレキシブルダクト (別売品) に排気口を差し込んで取り付けます。(図 3-4)



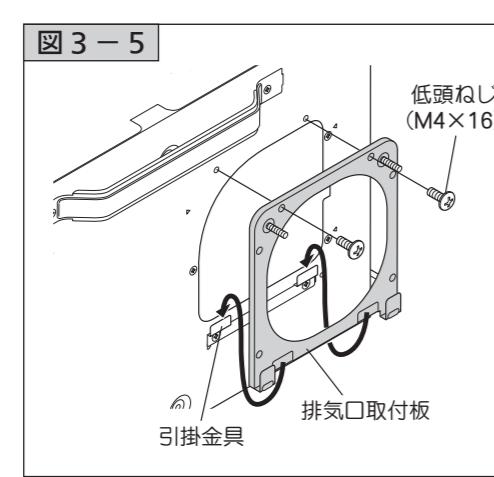
お願い
L形ダクトまたは回転式フレキシブルダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して側方・後方排気する場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。
下図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異音の原因になります。



排気口と本体の接続

■ 上方排気・後方排気の場合

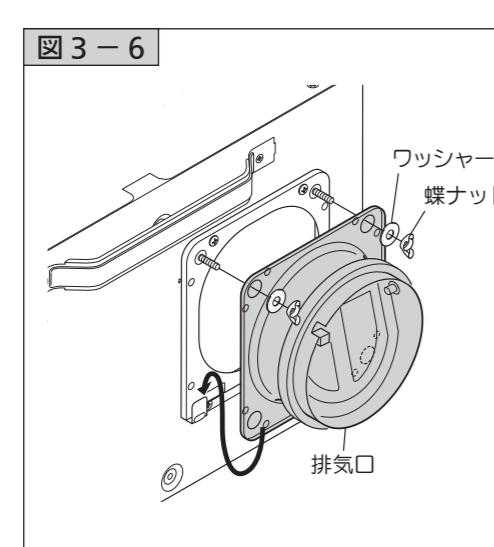
1 排気口取付板を取り付けます。(図 3-5)
フードの排気口取付部にある引掛金具のツメに排気口取付板を差し込み、付属品の低頭ねじ (M4×16) 2 本で固定します。



■ 上方排気の場合のみ

2 排気口を取り付けます。(図 3-6)
排気口取付板のツメに排気口を差し込み、ワッシャーおよび蝶ナットで仮止めします。
※ 排気口は取付位置から 6mm の範囲で可動できます。
ダクトを接続したあとに固定してください。

お願い
排気口を取り付ける際は、シャッターの開く向きに注意してください。
誤った取り付けの場合、排気不良や異音の原因になります。



■ 側方排気・後方排気の場合

本体を取り付けたあと「5. ダクトと排気用部品の接続」でおこないます。

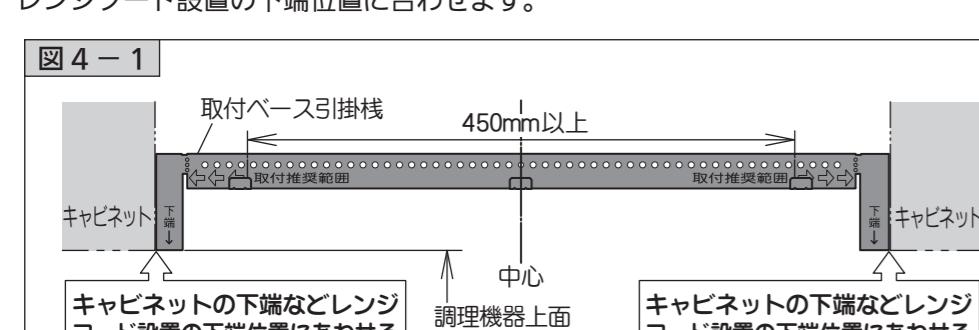
4. レンジフードの取り付け

△ 注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります
- 設置の際、整流板を持たないことを
必ずフード部を持って設置してください
变形するおそれがあります

レンジフードの取り付け

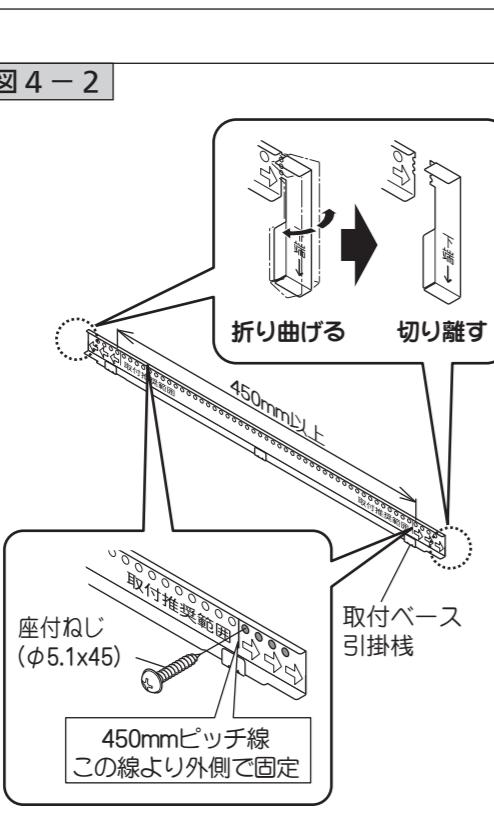
1 レンジフードの取付位置を確認します。(図 4-1)
付属品の取付ベース引掛桿両端にある突起下部をキャビネットの下端など、レンジフード設置の下端位置に合わせます。



2 取付ベース引掛桿を取り付けます。(図 4-2)
1) 取付ベース引掛桿を付属品の座付ねじ (Φ 5.1×45) 2 本で取付推奨範囲 (刻印あり) に固定します。

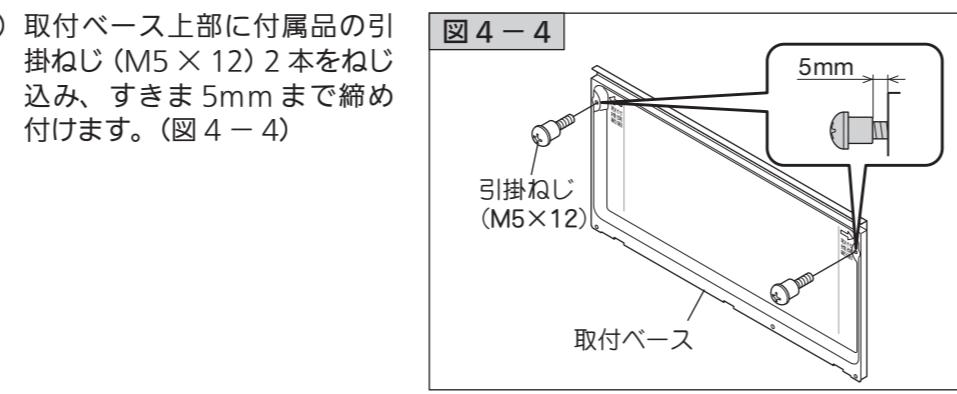
お願い
座付ねじ取り付け位置は 450mm 以上離し、取り付け面の補強部に確実に届く場所に固定してください。
※ 取付推奨範囲外での取り付けや壁面の強度などの影響でレンジフードが前倒しする場合は、市販のねじで増し打ちしてください。

2) 取付ベース引掛桿の両端を折り曲げて切り離します。



3 取付ベースを取り付けます。

1) 取付ベースの角穴を取付ベース引掛桿 3 ヶ所のツメに引っ掛け、上側を付属品の座付ねじ (Φ 5.1×45) 2 本で取付推奨範囲 (刻印あり) に固定します。(図 4-3)
※ 取付推奨範囲外での取り付けや壁面の強度などの影響でレンジフードが前倒しする場合は、市販のねじで増し打ちしてください。



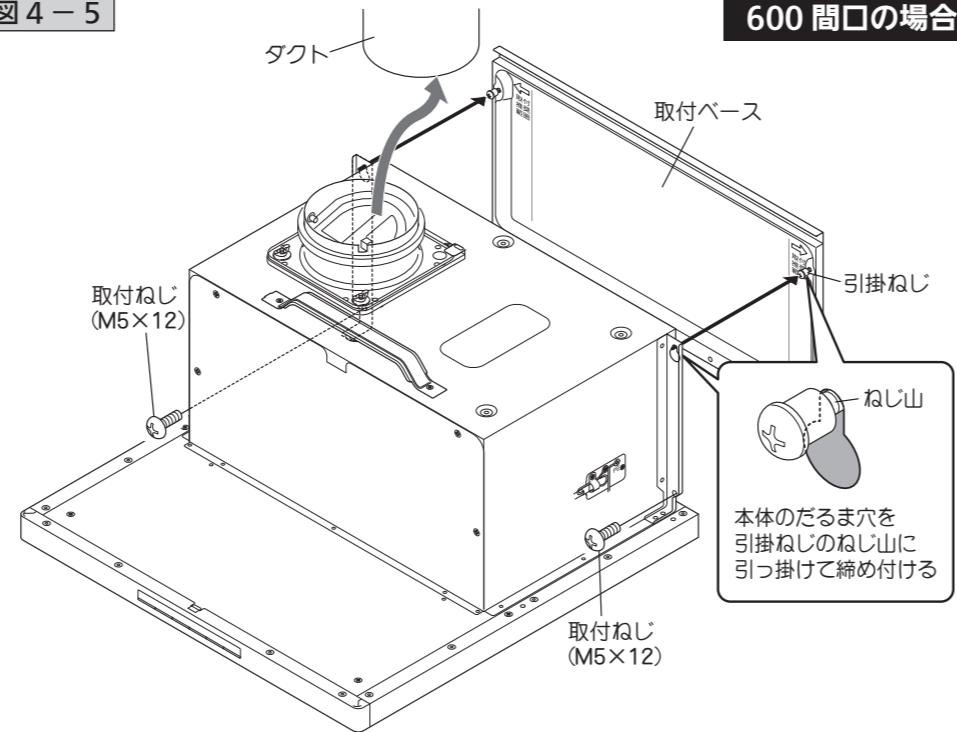
4 本体を取付ベースに取り付けます。(図 4-5)

1) 手順 3 の 2) で取り付けた取付ベース上部の引掛ねじ (M5×12) 2 本で本体のだらま穴を引っ掛けた後、しっかりと締め付けます。
※ 取っ手は、本体を引っ掛けた際の持ち手として使用できます。

お願い

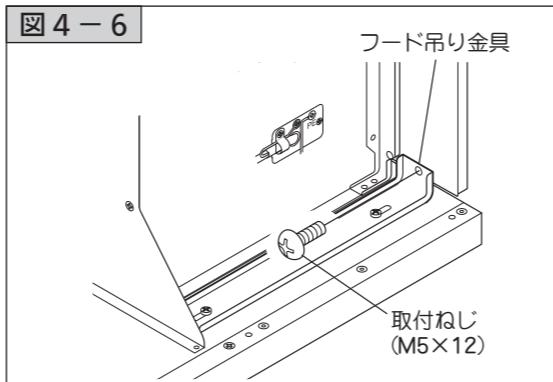
- ・必ず引掛ねじのねじ山に引っ掛けしてください。
- ・上方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

2) 左右のだらま穴下側の丸穴に、付属品の取付ねじ (M5×12) 2 本をねじ込み、しっかりと固定します。(図 4-5)



750 および 900 間口の場合

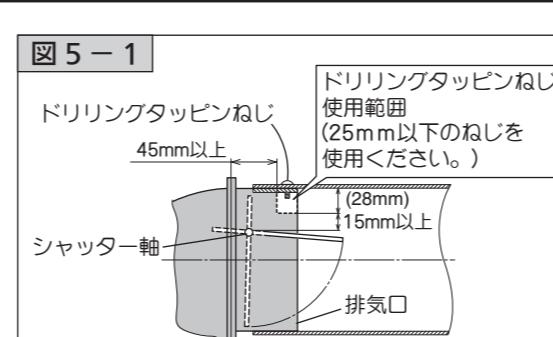
3) 左右のフード吊り金具の丸穴に付属品の取付ねじ (M5×12) 2 本をねじ込み、しっかりと固定します。(図 4-6)



5. ダクトと排気用部品の接続

お願い

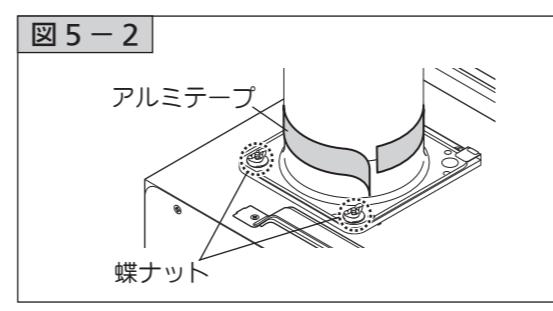
ドリリングタッピングねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじがあたらないように図を参照してドリリングタッピングねじ使用範囲以内に固定してください。(図 5-1)



■ 上方排気の場合 (図 5-2)

1) 排気口の蝶ナットをしっかりと固定します。

2) ダクトと排気口の接続部に漏れ防止のテーピング (アルミテープ) をおこないます。

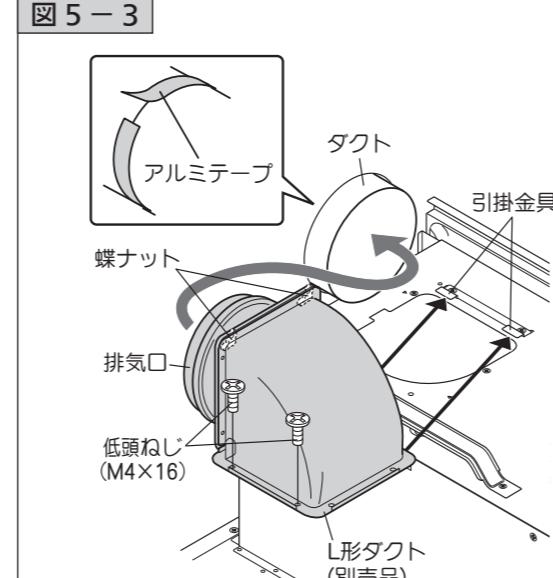


■ 側方排気の場合

1 排気口をダクトに接続します。(図 5-3)

1) L形ダクト (別売品) を排気口取付部にある引掛金具のツメに差し込みながら排気口をダクトに挿し、付属品の低頭ねじ (M4×16) 2 本で固定します。

2) 排気口の蝶ナットをしっかりと固定します。

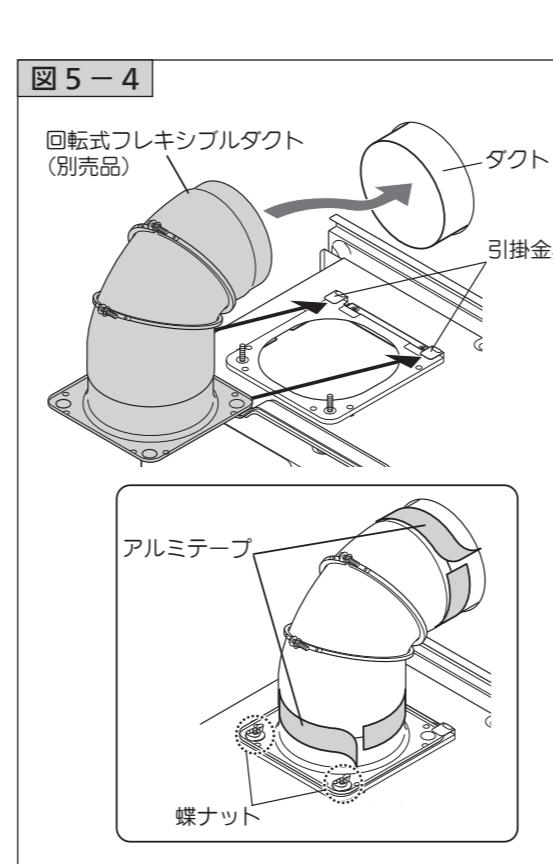


■ 後方排気の場合

1 排気口をダクトに接続します。(図 5-4)

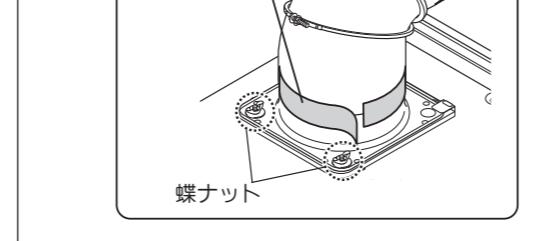
1) 前述の (図 3-4) の要領で接続した回転式フレキシブルダクト (別売品) と排気口取付板にあるツメに差し込みながら、回転式フレキシブルダクト (別売品) をダクトに挿します。

2) 排気口の蝶ナットをしっかりと固定します。



2 風漏れ防止のテーピング (アルミテープ) をおこないます。

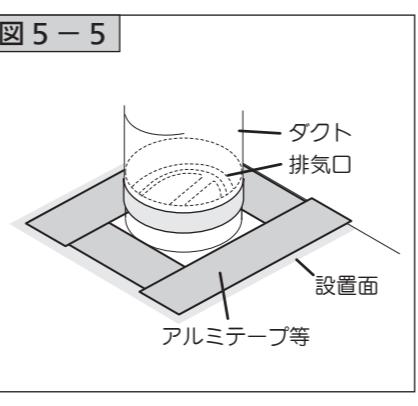
2) 風漏れ防止のテーピング (アルミテープ) をおこないます。



6. 取扱説明書およびオイルガード 固定テープの取りはずし

■ 排気口設置面の漏風確認のお願い (図 5-5)

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口 (製品天面等) が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。
風漏れを確認のために、ダクトと接続後は試運転 (強運転) をおこなってください。
漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等 (現場調達品等) で漏風防止等ををおこなってください。



6. 取扱説明書およびオイルガード 固定テープの取りはずし

■ 保護用クッション材をいったん取りはずし、整流板に貼り付けてある取扱説明書をはずします。

■ 付属の取扱説明書を参照して整流板を取りはずし、オイルガードを固定している固定テープをはがします。

固定テープをはがした後は整流板をもとどおりに取り付けてください。

7. 電気配線

△ 警告

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作でけがをするおそれがあります

● 交流 100V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります

● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って
法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります

● アースを確実に取り付けること
故障や漏電などのときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

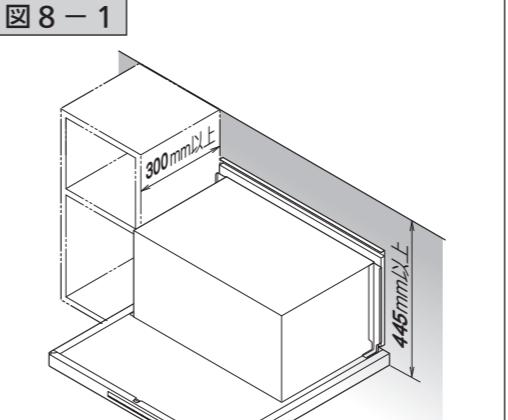
お願い
・電源は専用のコンセント (2 極差込接続器 15A、125V) やびブレーカーを設けてください。
・「9. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。
・コンセントは電源コードの長さを考慮し、設置してください。
・必ずアース (D 地接地工事) をしてください。機器に異常がない場合でも、アースを接続しないといと製品に帶電している電気を感じる場合があります。
・アース線を先に接続してから、コンセントに電源プラグを差し込んでください。
・レンジフードの配線工事の際、壁スイッチを設置しないでください。

8. 幕板の取り付け

■ 取り付け前の寸法確認 (図 8-1)

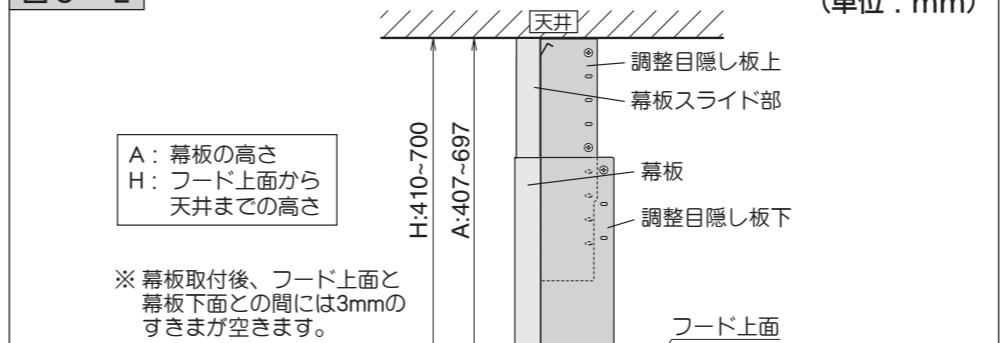
フード下面から天井までの高さが 445mm 以上、また壁からキャビネット本体までの奥行 300mm 以上あるかそれぞれ確認してください。

※ 奥行が 300mm 未満の場合は別売の横幕板をご使用ください。



■ 幕板取り付け高さ範囲 (図 8-2)

次式により幕板の高さを算出し、幕板のスライド部を調節して高さを合わせます。
A (幕板の高さ) = H (フード上面から天井までの高さ) - 3mm

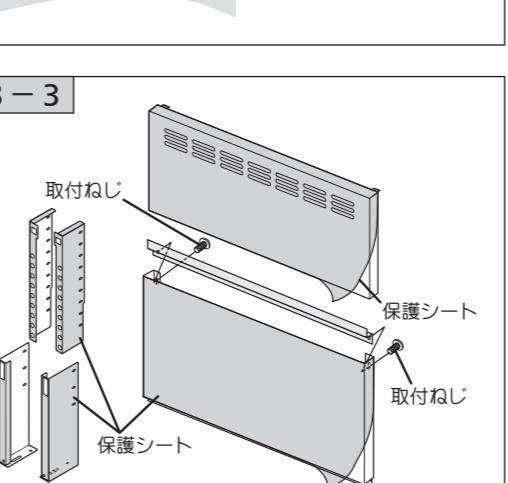


1 保護シートをはがします。(図 8-3)

お願い
・保護シートをはがした後は手袋が付けてやすいので十分注意してください。
・製品色により、ボリ袋の場合があります。

幕板および調整目隠し板上・下に保護シートがついている場合は、保護シートをはがします。

※ 幕板の保護シートをはがす際は、取付ねじをはずし、幕板を上下に分割してからはがしてください。

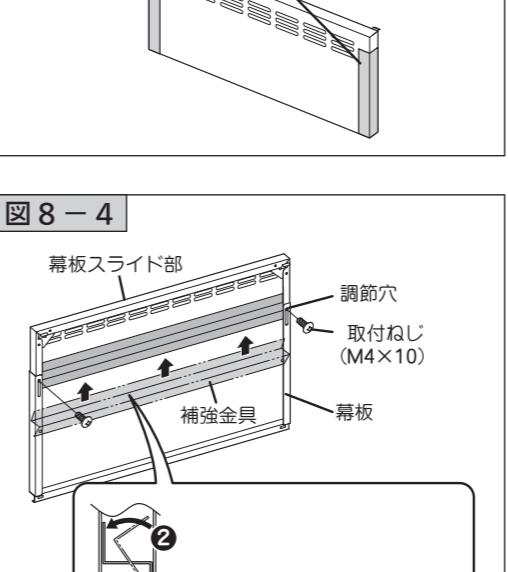


2 スライド部を固定します。(図 8-4)

※ あらかじめ「幕板取り付け高さ範囲」(図 8-2) を参照して幕板の高さ調整をおこなってください。(幕板を干すしないよう十分ご注意ください)。

1) 補強金具を幕板裏面に差し入れ、幕板の高さ調整穴付近まで移動させます。

2) 補強金具を回転させ、幕板の調整穴と補強金具の調整穴との位置合わせを確認してからはめこめます。



3 幕板スライド部の下端を付属品のアルミテープで幕板裏面より固定します。(図 8-5)

1) 補強金具を幕板裏面に差し入れ、幕板の調整穴と補強金具の調整穴との位置合わせを確認してからはめこめます。
2)